

明日へのまつり

in板橋

第4号
2010.2.14
03-3962-5942
荒馬座

満員御礼! いよいよ「まつり」はじまる!

昨年の十月二十九日に第一回の実行委員会を開いて始まった取り組みも今日で百八日目。そして満員御礼で公演を迎えることが出来ました。ご来場下さった皆様、ありがとうございます。いよいよ明日へのまつり」がはじまります!

民俗芸能は人と人を繋げ、元気にしていきます。太鼓や踊りには日本人の身体の奥に眠っている「生きる力」を呼び覚ましてくれる力があります。一人一人が元気になって、板橋中、日本中が元気になったらいいと思います。

さて、今回の取り組みでは板橋のたくさん子ども達と大人達に出会えました。そこで実行委員の取り組みを少しご紹介したいと思います。

力行(りっこう)幼稚園での練習風景。
午前中から20人近い参加者があつまり

ました。練習は「出会いの踊り」(二つとびで向かい合って跳ねてきた仲間と手をつないで進む)や「爆発の踊り」(おもいっきり元気にギャロップ)など楽しい趣向で元気に踊りました。

赤塚小学校での練習風景。「早くラッセラやりたい!」と体育館に入るなり走り出す子も。広い体育館を大きく「二つ跳び」「ギャロップ」で動き回っていました。疲れた大人を尻目に子ども達は元気いっぱい。「ラッセ、ラッセ、ラッセラー」と掛け声もすっかり板に付いてきました。子ども達の荒馬踊りにご注目下さい。



成増・大原社会教育会館の体験風景。
ふれあい子どもまつりのアウトリーチ活動(体験講座)で「荒馬踊り」を無料で体験できまし



た。子ども達は跳ねるのが大好き! 「馬」をつけると馬になりきって元気に跳ね回り、二時間があっという間に過ぎて行きました。

「虎はどこだ、虎はどこだ...」という威勢のいい掛け声で登場したのは「虎舞」。板橋区退職教職員の会の新年会とみなみ板橋おやこ劇場の委員会の場で宣伝活動をしてきました。満員御礼の風を呼び込むことができました!

実行委員会活動は一緒に踊ったり、太鼓を叩いたり、話し合いをしたり。みんなと「一緒に」に「公演を成功させよう」と繋がった気持ちで心地よい時間です。今日は会場の皆様と共に「明日へのまつり」を楽しみたいと思います。元気を会場全体で感じられますように!



現在荒馬座研修生をしています。その縁で実行委員会に参加しました。今回の公演は地元板橋ということもあって、関係者皆の熱い思いを感じています。今日はその思いを観客の皆様へお届けしたいと思っています！

田代幸代

板橋の中で、明日への元気を作り出す荒馬座の公演をたくさん子ども達と迎えられることは嬉しいです。これからも宜しくお願いします。

井上三鈴

荒馬座を応援する気持ちは以前からありました。でも、実行委員になって、広報体制から話し合うことで「尚一層たくさんの人に荒馬座の良さを知って欲しい」「板橋の財産として荒馬座を支える人や団体を増やしたい」という思いが強くなりました。

KAZUEM

おやこで荒馬踊りを”ふれあいこどもまつり”の舞台で踊ろう！と一月から上一中や力行幼稚園や赤塚小の体育館を借りて跳ねてきました。アクトホールでたくさんのおとも達のかわいい荒馬踊りが楽しみですよ

マダムコウノ

公演の宣伝でアサピーと念願の虎舞を踊りました！虎は荒馬座からお借りして、体はなんと黄色のTシャツとレインボーカラーのスポンで虎になりきりましたあ〜！楽しい宣伝活動でした。虎舞・・・やみつきになりそう・・・

小林敬生(タカ・スッパマン)

今日は子どもと大人が一緒になって楽しむ一日。板橋で観て、踊って、楽しもう！

遠藤貴子

太鼓の音にいつも元気を貰います。皆で楽しみましょー！

池田和子

右も左も分からず参加して副実行委員長になりましたが、なかなか思つのように動けず役割は何も果たせず終わってしまいました。参加した委員会は、話し合いだけでなく、太鼓もたたけて良かったです。ワークシヨツプはとても盛り上がり、前日の心配が嘘のようでした。

岩間雅子

今日一緒にできる皆さまと一緒に、心躍らせて祭を楽しむことができたら幸せです。

井上栄子

地元板橋で私もワクワクする公演をみんな楽しんでます

下平信彦(彦ちゃん)

十一月某日、新たな馬を作るための竹取りに出かけました。普段からよくばりな竹取りメンバーは、できるだけ太い竹を選んでバツタバツタと切り倒しました。ところが！太い竹を選んだばかりに、その後の竹割りと加工はおそろしく大変でした！何事も欲張るもんじゃありません。てんやわんやで完成したニュー荒馬も、ぜひ見て下さい！

水坪ちひろ

年齢も職業も違う人達が集まって「ラッセツラ」と声を響かせ踊ったように、昨日までは出会えなかった人達と繋がっていききたい！と強く思います。A.C.T.ホールに元気な掛け声を響かせるぞー！

植野雪子

板橋の子ども達と荒馬踊りの取り組みが出来て良か

ったです。馬作りは竹を取りに行くところから出て貴重な体験が出来ました。実行委員みんなで協力して作った馬が今日の舞台に元気な子ども達と出馬！？します。今日はみなさんも「ラッセラー！」の掛け声で明日の元気を一緒に作りましょー。

佐藤高治

実行委員会ニユース作りと宣伝活動、荒馬踊りの練習などで完全燃焼。振り返れば「楽しい&おいしい(ニ)思い出」で一杯です。みんなで作る「まつり」が元気や笑顔の源になりますように！

麻田和伸(アサピー)

子どもたちと一緒に舞台いっぱい跳ねまわります！

入野量子

人間しばしば落ち込むことがあります。私は音楽があったから立ち直ることができました。荒馬座の芸能にはその力がある！だから応援しています。

本橋由紀子

二十数年ぶりに板橋に戻り、こちらで初めての荒馬座の活動になりました。板橋にもやっと居場所をもらったという感じです。たくさん仲間をみつめました。これからも、板橋の地で楽しいことをたくさん作っていききたいですね。

鶴見篤子

工藤高栄